

支店別議案説明会質疑応答

9月7日から10日、管内8会場（各基幹支店と葛川支店）で支店別議案説明会が開催されました。組合員の皆さまから寄せられた貴重なご意見・ご質問の一部をご紹介します。また、総代の皆様から寄せられましたご質問も併せてご紹介します。

【黒石基幹支店】

Q. 固定資産の取得についてタブレット50台とあるが、どのように使用するのか。
A. 理事会や委員会などで資料を紙に印刷していましたが、これからはタブレットを使用しペーパーレス化に取り組みます。

Q. 現在のコロナ禍においてリモートで会議に参加する方法は考えているのか。
A. ウェブシステム用機器を本店と支店に置き、会議を行いたいと考えています。

【平賀基幹支店】

Q. 野菜計画に関連して、育苗施設の増設と専門職員の増員配置を以前からお願しているが、一向に進んでいないようである。今後計画はあるのか。
A. 施設については、平賀地区のハウスだけでは不足しているため、尾上育苗センターのハウス5棟を利用しています。また、次年度からは委託苗を増やし労力の掛からない良苗を供給したいと考えています。

Q. 直売所事業の収支差引金額ですが、本年度という方法でこの金額にできるのか内容を教えてください。
A. これまで赤字となっていた加工施設を休止したこと、人件費の抑制に取り組んでいます。また、本年度直売課を新設し、より多方面から販売物を取り扱いし売上げを伸ばしたいと考えています。

【石川基幹支店】

Q. 直売所事業の収支差引金額ですが、本年度という方法でこの金額にできるのか内容を教えてください。
A. これまで赤字となっていた加工施設を休止したこと、人件費の抑制に取り組んでいます。また、本年度直売課を新設し、より多方面から販売物を取り扱いし売上げを伸ばしたいと考えています。

Q. 石川基幹支店・サンフェスタいかわの減損損失計上は将来無くなるといつ頃か。短期的に業績の回復が見込めないとあるが、経営努力によって改善できる部分もあるのではないかと。減損損失については、会計基準に沿って計上したもので無くすることを前提にしたものではございません。我々としても、この地域に無くてはならない施設であると考えておりますので、黒字に転換できる方法を検討してまいります。

【板柳基幹支店】

Q. 「農業者の所得増大」をJAの目標としているのだから、今年産りんご販売については、出荷時期等の見直しなど販売計画を考えていただき、組合員が安心してJAに入庫し所得向上できるように販売努力してください。要望します。
A. 皆様の要望に添えていけるように、きめ細かい販売計画を立てて取り組んでいきたいと考えています。

Q. 監査には期中・期末、内部監査とありますが、3つの違いを説明してください。
A. 監事監査の期中監査は、半期の事業について、期末監査は決算を中心にいづれも監事監査規程に基づいて実施しています。内部監査は、組合長の指示のもとに監査室が中心になって行ないます。監査結果は文書で理事会、監事会に報告しています。

Q. 不祥事件について、要改善JAおよび取組指標を満たしていないJAに指定されとありますが、どこが指定したのか。また、指定期間はいつまでなのかと罰則はあるのか。
A. 「要改善JA」については農林中央金庫が指定したもので、「取組指標を満たしていないJA」の指定とは、全中で指定したものです。指定期間中は近代化資金の借入が出来ないという罰則があります。解除までの期間は最低1年という事で、その中で再発防止策を策定して取り組んでいきます。

Q. 農業振興計画に係る助成事業の内容は次年度も同じなのか。
A. 「要改善JA」については農林中央金庫が指定したもので、「取組指標を満たしていないJA」の指定とは、全中で指定したものです。指定期間中は近代化資金の借入が出来ないという罰則があります。解除までの期間は最低1年という事で、その中で再発防止策を策定して取り組んでいきます。

【葛川支店】

Q. 農業振興計画に係る助成事業の内容は次年度も同じなのか。
A. 「要改善JA」については農林中央金庫が指定したもので、「取組指標を満たしていないJA」の指定とは、全中で指定したものです。指定期間中は近代化資金の借入が出来ないという罰則があります。解除までの期間は最低1年という事で、その中で再発防止策を策定して取り組んでいきます。

書面による総代の皆さまからのご質問

黒石基幹支店

Q. スケールメリットを生かして、生産資材を少しでも安く仕入れて欲しい。
A. 取扱い品目の絞り込みや見積もり合わせによる仕入先の集約により、安価の設定に努めます。

平賀基幹支店

Q. 稲作について、米価の変動によりまっしぐらの価格が大きく低下する見込みであるが、これまでも平川カントリーエレベーター（以下平川CE）の青天の霹靂荷受期間中に刈取りが出来ず作付け出来ない組合員には、公平さに問題があると思われる。それぞれの刈取り条件に対応できるような荷受け体制の整備を望みます。
A. 令和3年産の平川CEでの「青天の霹靂」の荷受総重量は937tでした。平川CEの1日あたりの荷受可能重量は600t/日ですので3日間では対応しましたが、令和4年産については面積の増減を考慮し荷受期間を設定いたします。

田舎館基幹支店

Q. 米の概算金が大幅に下落したことに對して、農協での支援策は考えていますか。
A. 令和3年9月13日開催の臨時理事会で支援策を協議しております。行政等の支援策も踏まえて、検討したいと考えております。

Q. 同じ内容で考えておりますが、6月末の決定に向けて要望を伺い、検討対応いたします。

Q. 葛川支店の信用事業廃止後の対応は具体的に決まったのか。
A. 具体的には決定していませんが、ATM、移動店舗車を含む対応を、地区皆様の要望を伺いながら決定したいです。

Q. 加工所に限らず毎年のように不祥事が発生しているが、今後発生させない対策はとっているのか。
A. 石川農産物加工施設には事務処理を管理するシステムが導入されておらず、検証できなかったことが大きな要因であるが、現在殆どの施設ではシステムが導入されています。新設されたリスク管理課及び監査室による検証体制を強化し、不祥事未然防止に努めております。

【尾上基幹支店】

Q. 先日、管内で農作物の盗難事件がありました。盗難対策として防犯カメラ等の購入には助成するなど、防犯対策を強く進めていただきたい。
A. 苦勞して育てた作物を一瞬で盗まれてしまうというのは我々生産者としては許せないことです。盗難が起きないように近隣の皆さんと一緒に頑張って見廻ることも対策の一つだと思えます。また、防犯カメラについては、黒石警察署でりんごに対しては設置を進めているようです。

Q. 特別採択の中で、JA津軽みらい「不断の自己改革」(案)の文面に、組合員と徹底した対話に基づいてとありますが、徹底した対話とは？
A. 自己改革の今後の取り組みとして、組合員との対話の機会を増やし、組合員から求められているものを把握することで、具体的な取組方針を策定したいです。

【尾上基幹支店】

Q. 特別採択の中で、JA津軽みらい「不断の自己改革」(案)の文面に、組合員と徹底した対話に基づいてとありますが、徹底した対話とは？
A. 自己改革の今後の取り組みとして、組合員との対話の機会を増やし、組合員から求められているものを把握することで、具体的な取組方針を策定したいです。

【常盤基幹支店】

Q. 説明会において、組合員数が年々減少していますが、農協役員会などにおいて対策等をどのように話し合われていますか。
A. 組合員の高齢化と後継者不足により正組合員数は年々減少しており大きな課題となっています。一方で大規模農業を目指す農業者もいることから、当該農業者の育成及び支援に努めたい。また、農業の魅力発信し、新規就農者の増加につなげたい。

【石川基幹支店】

Q. 売却した旧石川農協大沢支所について、現在、買主より農協石川青年部が借りて事業継続している開約所を農協資産として買い戻してほしい。
A. 旧石川農協大沢支所については、遊休資産で更に建物の老朽化による修繕も必要なことから、売却にしております。当組合では、今後処分が必要な遊休資産を抱えており、そのような中で遊休資産の買戻しについては困難であることをご理解いただきたいと思います。

ので、今回の桃の盗難をきっかけに農作物全般を対象に防犯カメラの設置を進めてもらうように働きかけて行きたいと思えます。

【常盤基幹支店】

Q. 特別栽培米の推進とあるが、カントリーエレベーターではまっしぐらのみの取り扱いとなっており、つがる口マン特別栽培米の数量が減少しているため対応策を講じてほしい。また、常盤管内の特別栽培米についてもっと生協の方へ足を運ぶ体制を作って多く高く売れるしくみを作してほしい。
A. カントリーへつがる口マン特別栽培米を受入れた経緯はありますが、計画4000俵に対して実績は1000俵程度でした。1本6600俵入るサイロに1000俵では稼働がしづらいことから、対象者には説明会を開催して各精米業者へ振り分けることとなりました。また、現在予約を頂いている特別栽培米については生協と交渉し全量結びついていきます。コロナが収束したら足を運び交渉に行きたいと考えています。

Q. 昨年産、ふじの価格が安かったの理由を教えてください。
A. 早生種までは堅調な販売であったが、中晩性種については前年を上回る入庫増により消費市場での荷動きが停滞し販売は低調となっております。

Q. 昨年産、ふじの価格が安かったの理由を教えてください。
A. 早生種までは堅調な販売であったが、中晩性種については前年を上回る入庫増により消費市場での荷動きが停滞し販売は低調となっております。

【板柳基幹支店】

Q. 板柳基幹支店のATMで、硬貨を使えるようにしてほしい。
A. 硬貨対応機となるため、改造費用が多額となること。また、硬貨対応機で運用したとしても、その後のランニングコスト（硬貨詰まり等故障頻度も増える）も上がることから、今のところ導入は考えておりません。

その他多くのご意見・ご要望をいただきました。今後は一つ一つを真摯に受け止めて参考にし、事業運営に努めてまいります。

